

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 4 回中央地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央 6 地区まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 4 9 (直通)		
開催日時		令和 6 年 1 1 月 2 8 日 (木) 1 9 時 0 0 分 ~ 2 1 時 0 0 分		
開催場所		中央公民館大会議室		
出席者	委員	1 7 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	3 人 (中央 6 地区まちづくりセンター所長ほか 2 人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開 会 2 連絡事項 ・地域活性化事業交付金の執行状況等について 3 議 題 (1) 中央地区の課題に対する取組について ・防災ガイドについて ・中央地区防災フェスタについて (2) 地域活性化事業交付金について 4 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次の通り。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

鈴木会長よりあいさつをした。

2 連絡事項

地域活性化事業交付金の令和6年度の執行状況について、中央6地区まちづくりセンター所長から次の通り報告が行われた。

- ・中央区内9地区の執行状況と今後の執行見込を調査したところ、中央地区を含めた4地区から計157万4千円の追加要望があった。
- ・不用額が出る地区もあり、その合計は167万3千円であったため、地区間流用し追加要望地区に不用額を充当することとなった。
- ・よって、中央地区が追加要望していた40万円は全額追加配当となる。
- ・充当後の執行残と区留保分(100万円)については、9地区合同の取組で利用できないか今後検討する。

3 議 題

(1) 中央地区の課題に対する取組について

【防災ガイドについて】

事務局から防災ガイド作成にかかる概要を説明したあと、担当委員より掲載内容案について説明した。

〈主な意見・質疑〉

○目次を見ると、内容が地震に特化している。確かに中央地区は川や山がないため洪水等は起きないが、近年の異常気象を考えると台風や大雨による被害は十分考えられるため、そういった内容も入れた方が良いのではないか。

⇒○前回作成のガイドも地震に特化している。風水害となるとどこまで入れるべきか検討が必要である。最近では異常な集中豪雨も多く、今までなかったような水の害というのは考えられるので、何かしらの形で触れるページを作りたいと思う。

○雨の時と地震の時に避難する場所は同じなのか。

⇒○このあたりだと地震の時は学校、風水害は公民館というようにわかれている。

⇒○緊急避難場所と避難所は違う。危険を感じて一時的に避難するのが避難場所で、災害で家に住めなくなってしまった人が生活する場所が避難所である。そういった違いもガイドには載せている。

⇒○テレビ等でよく「避難場所」である公民館を「避難所」と間違えて伝えているため、公民館がすべての避難場所と勘違いしている人がよくいる。そういったことももう少し詳しく書くと良いと思う。

○シニア向けをどうすべきか悩んでいる。参考資料を探したが、内容的には一般向けのものと変わらず、ふりがながある程度だった。ポイントをわかりやすく記載する等の配慮はしたいと思うが、シニア向けという形で作るのは難しいと考えている。

○子ども向けについてはどうか。

⇒○実際に学校で配布されている子ども用の防災ガイドがある。これはおそらく皆さん知らなかったと思う。こういったものがあるということを知ってもらおうという意味でガイドの中で触れた方が良いと思っている。

⇒○実際に避難する際に子どもだけということはないので、子ども用のガイドがあっても学校でも教育しているということをお知らせする必要はあると思うが、子ども用を作る必要はないと思う。親もこういったものが学校で配られていることをおそらく知らない。

○水害は土地柄的にあまりないと思うが、台風などで暴風の被害はあるので、事前の対策の中に入れておくと良いと思う。

⇒○中学生用のガイドに風水害について載っていたので、それを参考にしたい。

○印刷部数について、地区内の全世帯配布というのは難しいが、自治会員以外の人でも欲しいといえれば配布できるような数は作成したい。

○高齢者になると自治会を退会する人が多い。そういった人たちにどう配布するか。

⇒○高齢者への配布については、地道な活動にはなってしまうが、地域包括支援センターで高齢者等の戸別訪問を行っているので、その際に防災ガイドを持っているか確認し、持っていなければ資料と一緒に渡すことはできる。

⇒○民生委員の敬老事業も訪問するが、対象者の年齢が79歳以上である。

○中央地区内にも介護事業所やデイサービスセンターが多数あり、高齢者に携わっているため、そういうところにも配布すると良いと思う。

<結果>

印刷部数は1万5千部とし、予算60万円の範囲内でページ数を増やすなどして調整することとした。

【中央地区防災フェスタについて】

まず担当グループごとに進捗状況の報告を行い、その後役員及び事務局から資料に沿って説明した。

<主な意見・質疑>

○お年寄り体験と避難時の介助方法の体験ブースについて、協力してくれる介護事業者が見つかったので正式な依頼をかけるのだが、会長名で依頼文を作成したい。

○アルファ化米コーナーで発生するごみについて、昨年度と同じく提供時に袋に入れて渡し、すべて持ち帰ってもらうようにしたい。

○基本的には全部食べ切ってもらうのが前提だが、味噌汁の飲み残しが出た場合どうするか。公民館に捨てられるのは困ってしまう。

⇒○ふた付きのカップに変えるよう検討する。

○事業評価を行うためにも、当日来場した人にアンケートを行った方が良い。

⇒○承知した。やり方については次回会議で提案する。

⇒○各ブースがあると思うので、その場で感想を書くという形もよいのではないか。

○レイアウトについて、公民館裏側駐車場は関係者駐車場になると思うが、図書室は開いているため、図書室利用者用に3台分確保してほしい。

⇒●承知した。

(2) 地域活性化事業交付金について

地域活性化事業交付金の申請団体から「中央地区防災ガイド作成事業」について事業内容等の説明が行われた。

【中央地区防災ガイド作成事業】

<説明要旨>

近年は地震、台風、大雨等の災害が頻発し、防災に対する関心は高まっている。

中央地区でも東日本大震災をきっかけに意識が高まり、地域の防災組織や一時避難場所・避難所について知らない人が多いことから平成25年度に中央地区防災ガイドを作成し、配布やイベントでの活用等で啓発を行ってきたが、作成から10年以上が経過したことで内容に齟齬が生じたり、時代に合わなくなってきたこと、現在も地区として防災に対する意識は高いが「令和6年 能登半島地震」が発生したことにより更にその機運が高まっていることから、現在の防災ガイドを改訂し啓発活動を継続していくもの。

住んでいる地域の防災組織や避難場所等の身近な情報の他に、災害への備えとして必要な内容を掲載し、住民が災害に備えて対策を行う際の一助とする。また、地域防災活動の大切さや重要性について、意識の向上を図ることを目的とする。

<結果>

防災について関心はあるものの、知識が曖昧なことも多く、実際に自分がどこに避難すれば良いか分かっていない人も多い。この防災ガイドを利用することで身近な防災に関する情報を得ることができ、住民の防災対策の助けになることが期待されることから、積極的採用とする。

4 閉 会

鈴木会長より、閉会のあいさつをした。

令和6年度 中央地区まちづくり会議委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	鈴木 泰信	中央地区自治会連合会	会 長	出席
2	館脇 智幸	中央地区自治会連合会		出席
3	鳥海 千秋	中央地区社会福祉協議会	副会長	出席
4	大橋 隆	中央地区民生委員児童委員協議会		出席
5	浅野 耕市	中央地区老人クラブ連合会		出席
6	岡野 博	中央地区青少年健全育成協議会		出席
7	松田 正則	中央地区健康づくり普及員協議会		出席
8	東使 敏二	中央地区防犯協会		出席
9	河本 喜美夫	相模原交通安全協会		出席
10	武田 守弘	中央地区連合自主防災隊		出席
11	齋藤 啓夫	中央小学校 PTA		欠席
12	岡野 智博	弥栄小学校 PTA		欠席
13	佐藤 匠	富士見小学校 PTA		出席
14	岡本 和茂	中央公民館	副会長	出席
15	浦上 裕史	中央地区内商店街		欠席
16	澤畔 正裕	中央地域包括支援センター		出席
17	藤井 絵美	中央地区民生委員主任児童委員		欠席
18	山口 紗永子	中央地区民生委員主任児童委員		出席
19	倉澤 良明	公募委員		出席
20	牛尾 良一	公募委員		出席
21	佐藤 要子	公募委員		出席